

～市長に対する総括質疑～

広和クラブ



古田 島 和茂 議員

問 令和6年度一般会計予算案は272億7000万円とあるが、未来への投資効果と後世への負担増の懸念は。

市長 人口減少問題が大きな課題となっており、何もしていかなければ、市の活気や移住定住などに変化は生じず、持続可能な街づくりにはならない。また、サレイク草木などの大型事業も進んでおり、完成後のランニングコストもかかるため、運営方法については民間活力も導入しながら、様々な方法を検討している。**問** スマートフォン講座の開設と、活用については。

市長 令和3年度から、60歳以上の市民を対象に初心者向けの基本的な操作など、身近で活用できる内容で講座を行っている。令和6年度においても、講座の内容や回数、会場について充実をさせていきたい。

問 トイレトラックの仕様と導入の必要性については。

市長 洋式の水洗トイレ4基と、多機能トイレ1基の合計5基を搭載。近年、さまざまな災害が頻発化しており、トイレ不足が問題となっている。災害を他人事ではなく、自分身事として考え、過去の大災害の教訓を生かすため、このトイレ問題に真正面から取り組み、ため導入を検討した。



須藤 日米代 議員

問 食べきり協力店の現在の登録店舗の数は。

市長 8店舗である。

問 登録拡大を促進するための手法、またインセンティブとしてポイントを付与するエコアクションの内容は。

市長 登録拡大を促進するため、市のホームページで登録した協力店の取組内容を紹介している。エコアクションの内容については、1ポイント1円として換算され、スマホアプリの中で管理し、市指定ゴミ袋、電子マネー、商品券などと交換ができる。

問 食育推進の観点から、給食残渣を利用して液体肥料を生成する循環型社会の実現について、給食残渣活用目標は。

市長 1日平均100キロ排出の内65キロを液体肥料として有効活用を目指す。

問 液体肥料生成までの期間は。

市長 24時間で畑にまくことができる。

問 みどり市農家へ液体肥料を配布する考えは。

市長 今後検討する。

問 相澤忠洋氏を題材とした岩宿遺跡発見80周年記念の映画製作については。

市長 令和8年完成を目指し、市を積極的にアピールしていく。



柴崎 訓佳 議員

問 大間々官民共創デザインの取り組み状況は。

市長 公募による民間のメンバーが具体的にやりたいことなどを話し合うワーキンググループを開催しながら、令和6年度において大間々官民共創デザインを策定し、町中のエリア価値向上に向け、民間と力を合わせて事業展開をしていく。

問 健康経営優良法人の認定については。

市長 現在、メンタルヘルス不調者などの対策を講じているが、包括連携協定を締結している群馬ヤクルト販売の協力をいただきながら健康経営の認定に向け努力している。

問 個別施設計画による大規模改修や解体などの計画は。

市長 廃止が決定している建物の解体後の跡地活用も含め、地域の方々と意見交換を行いながら、その地域にあった検討を進めていく。キャンプ場などの大規模改修については、建物評価や利用状況を踏まえた上で魅力ある施設になるように展開していく。



※令和6年3月11日、群馬県内の自治体でみどり市が初めて健康経営優良法人に認定されました。

ここが聞きたい！

市民クラブ



上岡 克己 議員

問 持続可能な未来への取り組みとしてデジタル技術の活用が求められているが、職員のスキルアップを目指した研修会の開催について、どのような内容、目的で行うのか。

市長 令和6年4月から令和8年3月までの2年間、民間からデジタル人材、専門人材を登用する中で、デジタル人材の役割として職員に対し、デジタル技術を活用した業務効率化、日頃の業務に対するデジタル化への意識づけ、また、情報セキュリティに対する研修などを定期的に行い、職員のデジタル活用に関するスキルアップを行っていきたいと考えている。

問 子育て世帯をターゲットにPRし、移住希望者に寄り添った支援環境を整えるため、効果的な情報発信と移住相談体制の取り組みとあるが、具体的な内容は。

市長 30代を中心とする子育て層の方々に合わせ、ス



マートフォンで見やすいように市のホームページのレイアウトを変更した。移住相談体制の具体的な取り組みに関しては、大間々駅前前の観光案内所に移住相談窓口を設置し、観光案内と併せて効果的に移住相談にもつなげていく。これまでに移住希望者から土日に相談したいという要望もあつたため、この窓口は土日、祝日も開設し対応する。子育て支援情報については、給食費の完全無料化、18歳までの医療費無料化、第1子からのおむつ券支給開始など、子育てしやすい環境が整っていることをインスタグラムなどのSNSを積極的に活用しながら、効果的に子育て支援情報を発信していく。



阿左美 守 議員

問 鹿田山周辺の散策ポイントコースで中島遺跡が抜けているが。

市長 令和6年度に鹿の川周辺の歩道整備事業が予定されていることから、鹿田山フットパスや岩宿博物館、鹿の川沼を1つの散策ポイントとして検討しているが、今後は中島遺跡なども広く取り込んでコースに加えていくことを考えている。市民の皆様に、市内各所を巡っていただけるよう、歩きたくなるような環境整備を行っていく。

問 天神山の整備事業計画は。

市長 令和6年度は、拡幅に必要な沿線用地の測量と、用地買収を実施する予定である。用地買収が順調に進んだ場合は、令和7年度から工事に着手し、工事については整備延長が長いので、2力年の期間が必要であり、完成は令和8年度になるものと考えている。

問 みどり5つのゼロ宣言実現に向けた、市民向けLED照明器具設置費用の補助事業の内容は。

市長 補助対象者は、市内に住民票のある方で、個人の住宅が対象となる。補助対象経費は、蛍光灯や白熱灯などの照明器具からLED照明器具へ交換するためのLED照明

器具本体及び工事費用である。補助金額については、対象経費の2分の1で、上限額は5万円である。

問 市民からの陳情、要望の多い道路整備についての取り組みは。

市長 陳情、要望が出ている生活道路は、生活道路整備事業として、予算額約5億2000万円を計上しており、25路線の整備を実施予定である。

問 群馬県に選定された新規産業団地の候補地について、令和6年度中の事業化決定に向けての今後の市の対応と計画は。

市長 地権者の同意取得のほか、農業振興地域からの除外に向けた調整、地歴調査の実施、土地改良区、あるいは電気、水道などインフラ事業者との事前調整などが必要となる。



令和6年度 施政方針

新政クラブ



高草木 弘子 議員

問 こども家庭センターの設置目的は。

市長 全ての子ども、妊産婦、子育て世帯への一体的な相談支援を行う。

問 一体的サポートは現状の職員体制で可能か。

市長 これまで以上に児童福祉と母子保健の職員が連携、協働して取り組む。

問 どのように子育てしやすい環境を整えるのか。

市長 第一子からのおむつ用品の支援、高校生までの医療費無料化などの経済的支援と子育て家庭への相談体制の充実を図る。

問 歩くまちみどりの目的は。

市長 歩く人を増やすことを目指しながら、スマートフォンアプリも導入する。

問 鹿田山周辺だけでなく、大間々町、東町も道路整備すべきでは。

市長 高津戸峡、ながめ公園、要害山、市街地を一体的に、大間々町や東町についても歩きたくなるよう道路環境整備を行うっていく。

問 職員の身体、メンタルの

健康維持への取り組み内容は。

市長 職員同士のコミュニケーションの促進により、風通しの良い職場環境をつくる。

問 孤独孤立対策の目的は。

市長 活動分野、業種を超えた支援者がつながる対策が推進できるよう日常からのつながりが実感できる社会を目指す。

問 高齢者の健康で自立した生活を応援する新たな事業とは。

市長 介護予防、生活支援、見守り、健康づくり、社会参加、生きがい対策に取り組む。

問 障がい者や高齢者への福祉施策が少ないのでは。

市長 限られた財源の中で必要な措置を行い、福祉の充実に取り組んでいく。



松井 篤 議員

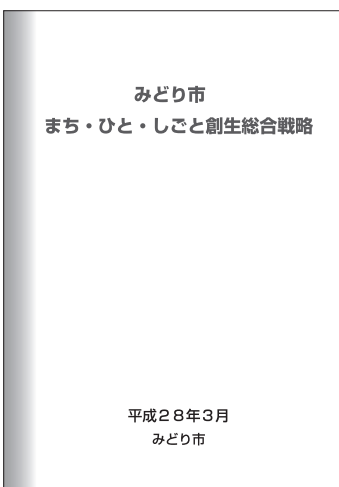
問 最大の課題である人口減少や少子化に対する取り組みについては、「子育て支援による少子化対策の推進」や「特色ある教育環境の整備」の施策だけで本筋に十分なのか。

市長 急激に進む人口減少社会において、様々な政策を、選択と集中を用いながら、本市の状況に合った政策を選んだ、集中的に予算を増額しているところである。

重点施策に掲げた「子育て支援や教育環境の整備」を進めるだけでなく、市外からの移住定住、あるいは企業誘致、産業振興を通じた地域雇用の拡大、また、市民が快適に暮らすことのできる都市基盤の整備も重要である。

特に、市民の定住を促進していく上でもハード面の整備が大事であり、道路・公園の整備、公共交通の拡充、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方、持続可能な都市基盤の構築などを進めている。

人口減少や少子化対策は、庁内の各部署に関わる大きな課題であることから、ソフト面の取り組み、そしてハード面の整備をしっかりと進め「みどり市総合計画」や「みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、持続可能なまちづくりを目指し、全庁一丸となつて取り組みを進め、ソフト・ハード両面から、本市の魅力を発信していきたい。



※コンパクト・プラス・ネットワーク…生活に必要な医療や福祉、商業などの機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各地域を交通や情報通信などのネットワークで結ぶ考え方。